

## 第38回研究運営委員会 議事概要

(注：本会議は個別具体の研究者や研究課題名に言及した議論が行われることから、非公開で行った。

本会議概要についても、それらが特定されない形での公表とする。)

1 日時：平成22年10月7日(木) 16:00~17:40

2 場所：食品安全委員会22階中会議室

3 出席者(8名)五十音順

圓藤 陽子(独立行政法人労働者健康福祉機構関西労災病院  
勤労者医療総合センター・産業中毒センター長)

及川 眞一(日本医科大学内科学内分泌代謝部門教授)

小泉 直子(食品安全委員会委員長)

佐々木珠美(日本生活協同組合連合会食の安全担当テクニカルアドバイザー)

品川 邦汎(岩手大学特認教授)

長尾 拓(食品安全委員会委員)

◎廣瀬 雅雄(食品安全委員会委員)

見上 彪(食品安全委員会委員長代理)

(◎：座長)

4 議題

(1) 今後の研究事業の方向性について

(2) その他

5 議事

(1) 今後の研究事業の方向性について

① 「今後推進すべき調査・研究の大枠」について

研究事業と密接に関係する調査事業を含めた、今後3から5年間に推進すべき調査・研究の大枠を策定することについて審議を行った。

その結果、「自ら評価を含む今後のリスク評価の方向性を踏まえ、十分な議論が必要」、「具体的な研究項目を入れるべき」等の意見を踏まえ、12月上旬までにキーワードを入れた大枠の素案を作成することとなった。

② 研究運営委員会の強化について

応募課題の採択や進行管理について十分な対応ができるように、研究運営委員会の人数を増やすこと等について審議を行った。

その結果、「新規課題の採択時や中間評価時において、必要に応じて、外部有識者の意見を聞くべき」等の意見を踏まえ、外部有識者からの意見聴取を含め、研究運営委員会の人数を柔軟に増減できるようにし、任期を3年とすることとなった。

また、①の決定を受け、研究運営委員会の業務として新たに「今後推進すべき調査・研究事業の大枠の策定」を加えることとなった。

③ 中間報告会の開催について

新規採択課題や、継続課題のうち研究計画の進捗状況の確認が必要とされ

る課題について、年度の途中で進捗報告会を実施し、研究の進行管理を強化することについて審議を行った。

その結果、「レポート形式によるセルフチェックでも十分進捗状況を把握できる」等の意見を踏まえ、23年度より、研究開始から半年経過した時点で、すべての課題を対象に中間レポートにより進捗状況を管理することとなった。

以上の決定を受け、①～③に関して、事務局で要領改正等、必要な手続き等を進めることとなった。

(2) その他

○12月9日の次回研究運営委員会の開催日程が了承された。

以上。